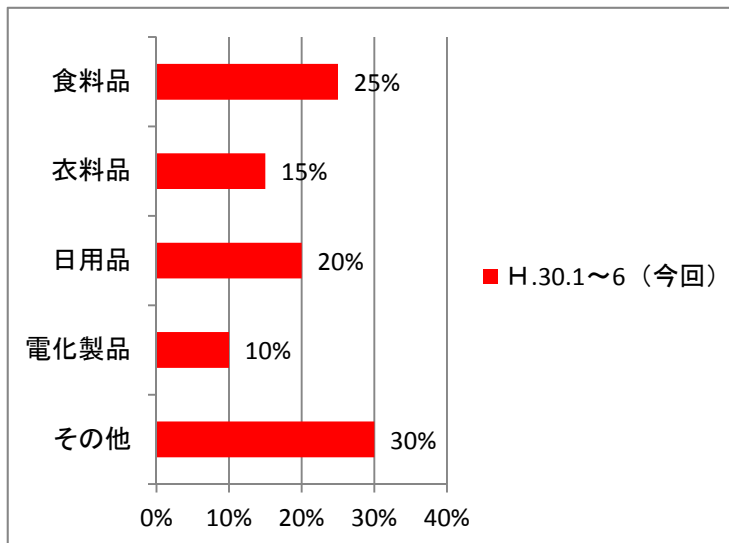


# 【平成30年7月実施 景況調査アンケート集計結果】

## ◆◆ 卸・小売業 ◆◆

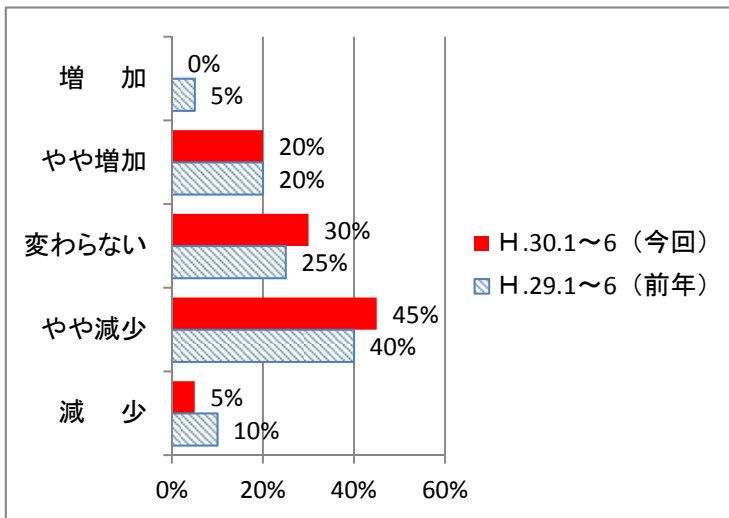
### 【分類別】



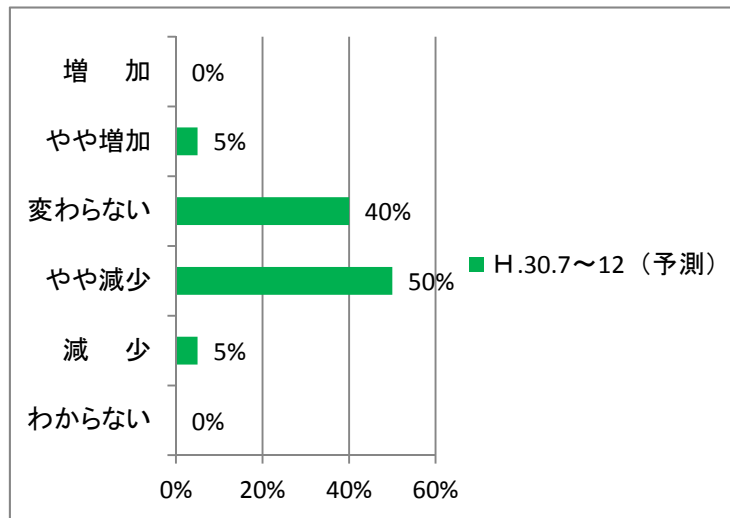
食料品25%、衣料品15%、日用品20%、電化製品10%、その他(ガソリンスタンド、薬局他)30%

### 【売上】

#### 今回結果と前年結果の比較



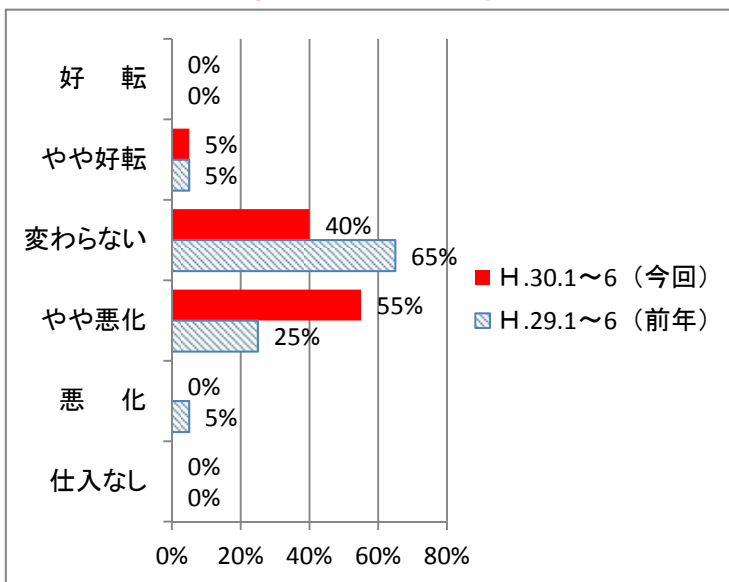
#### 予測(平成30年7~12月)



「増加」との回答が無くなり、半数が減少傾向の結果となっている。

### 【仕入】

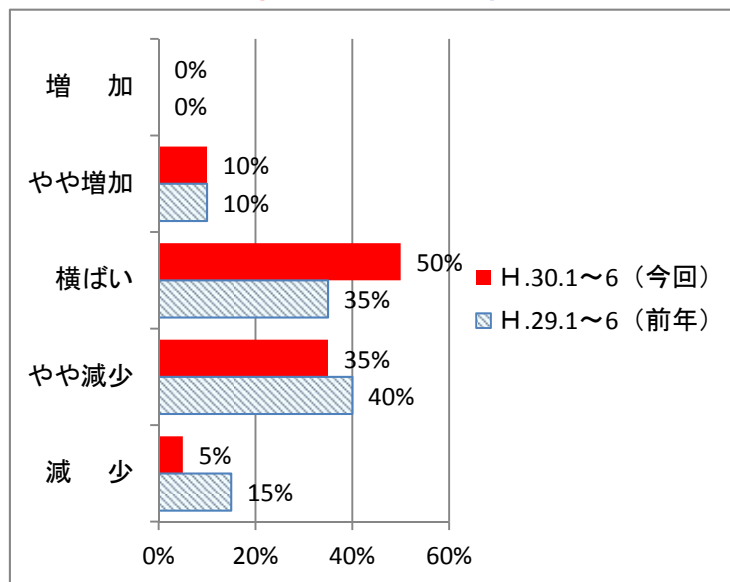
#### 今回結果と前年結果の比較



「やや悪化」が前年の25%から55%に大きく増えた結果となった。

### 【利益】

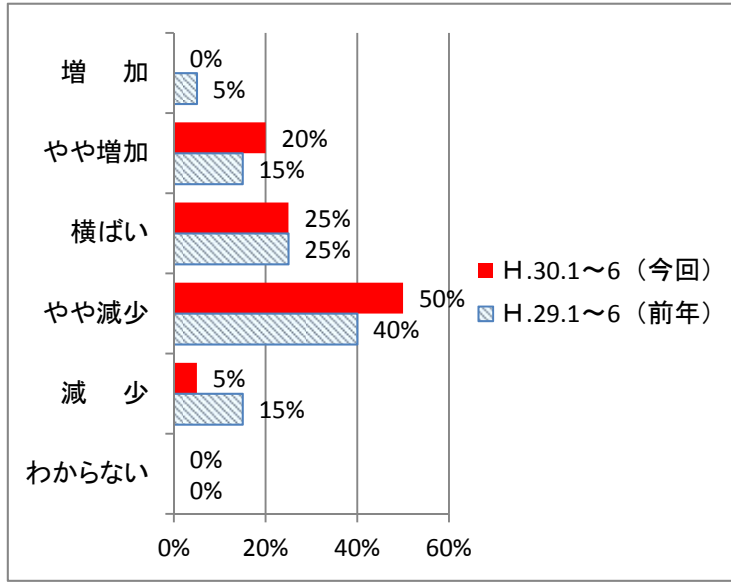
#### 今回結果と前年結果の比較



「横ばい」が50%に増加、減少傾向の回答が合わせると40%になり、前年の55%を下回っている。

## 【客数】

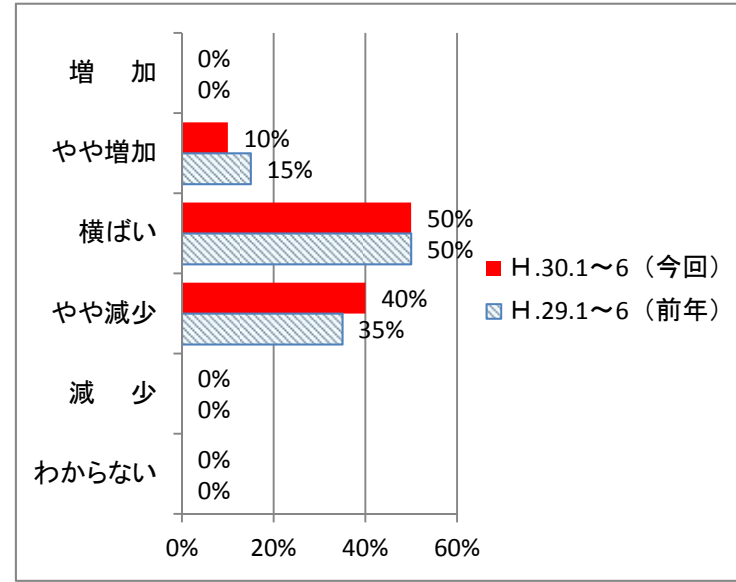
### 今回結果と前年結果の比較



前年同様、減少傾向の回答が55%と半分以上を占める結果となっている。

## 【客単価】

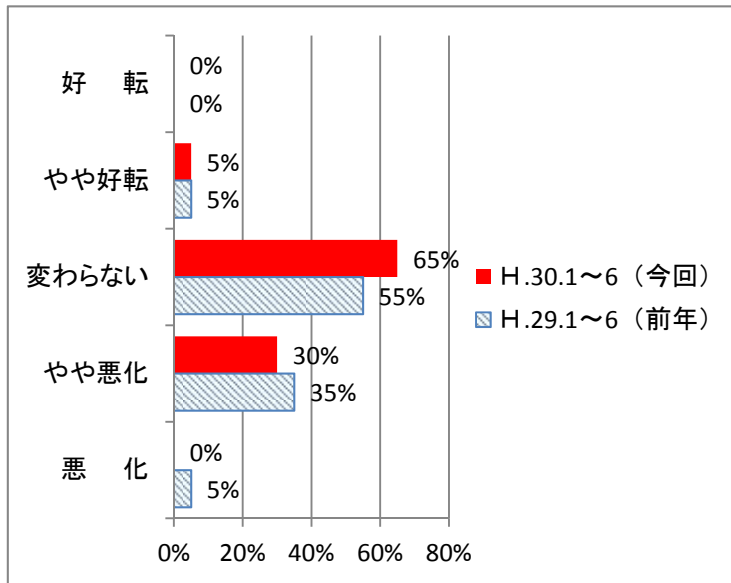
### 今回結果と前年結果の比較



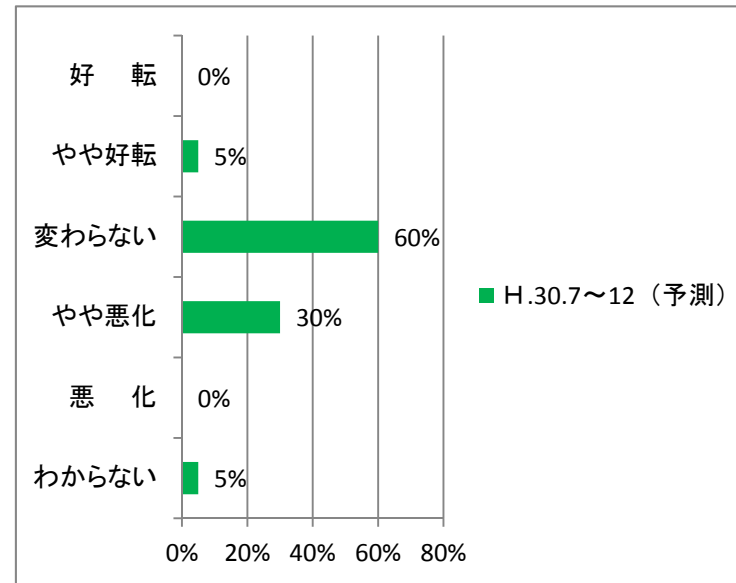
「横ばい」が50%を占めており、「やや減少」が40%に増えている。

## 【資金繰り】

### 今回結果と前年結果の比較



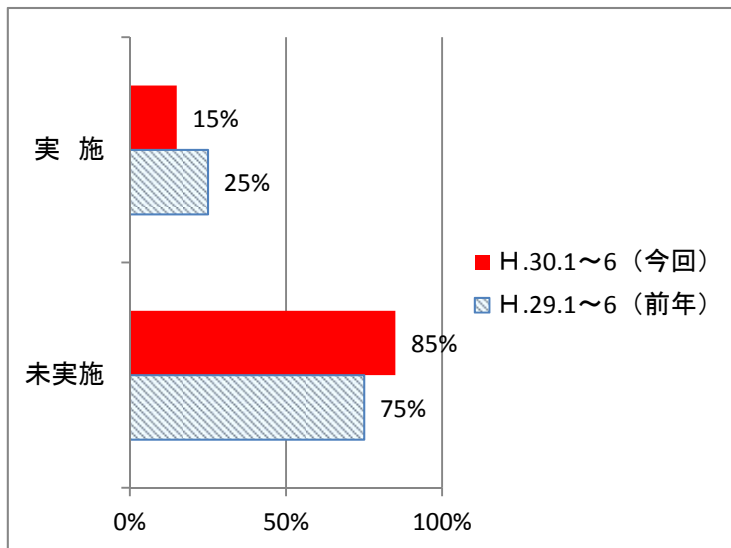
### 予測(平成30年7~12月)



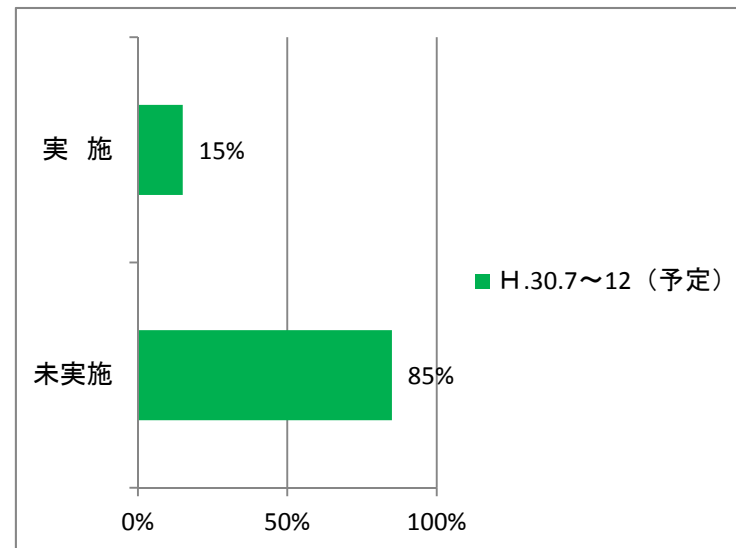
「やや悪化」「悪化」が前年より少なくなっているものの、「やや好転」の5%より大きく上回っている。

## 【設備投資】

### 今回結果と前年結果の比較



### 予定(平成30年7~12月)

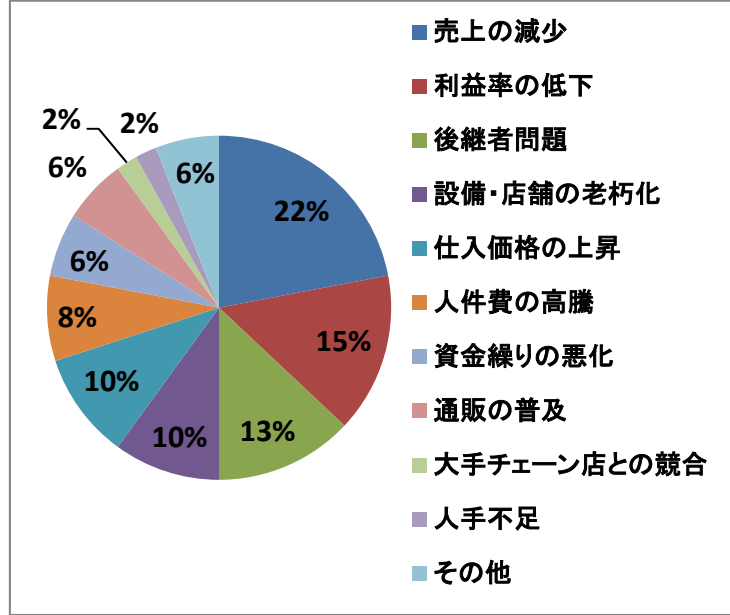
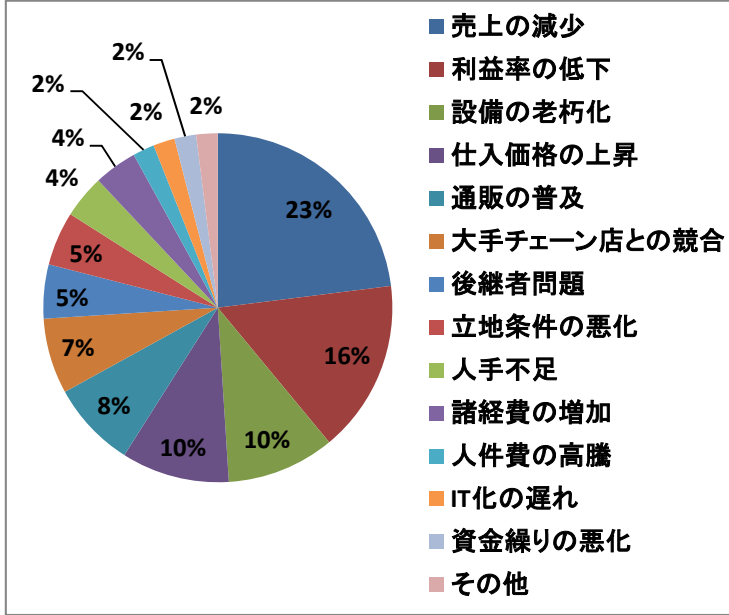


15%の事業所で設備投資を行っている。今後も事業所の15%が設備投資を予定している。

## 《 経営課題 》

今回(平成30年1~6月)

前年(平成29年1~6月)



売上の減少	利益率の低下	設備の老朽化	仕入価格の上昇
23%	16%	10%	10%
通販の普及	大手チェーン店との競合	後継者問題	立地条件の悪化
8%	7%	5%	5%
人手不足	諸経費の増加	人件費の高騰	IT化の遅れ
4%	4%	2%	2%
資金繰りの悪化	その他		
2%	2%		

売上の減少	利益率の低下	後継者問題	設備・店舗の老朽化
22%	15%	13%	10%
仕入価格の上昇	人件費の高騰	資金繰りの悪化	通販の普及
10%	8%	6%	6%
大手チェーン店との競合	人手不足	その他	
2%	2%	6%	

経営課題で一番多く挙げられたのが「売上の減少」で23%、次に「利益率の低下」で16%、「設備の老朽化」と「仕入価格の上昇」で10%という結果であった。